

チャペル週報

No.25

2013.12.2～12.6

それゆえ、わたしの主が御自ら
あなたたちにしるしを与えられる。
見よ、おとめが身ごもって、男の子を産み
その名をインマヌエルと呼ぶ。

(イザヤ書7：14)



西宮上ヶ原キャンパス ランパス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 12月2日(月) 神 <説教学演習B> 柳 本 和 良 (神学研究科M1)
経 舟 木 謙 (宗教主事)
人 アドベントを覚えて 樋 口 進 (宗教センター宗教主事)
聖和 聖書物語「家出したむすこ」
-
- 12月3日(火) 院 樋 口 進 (宗教センター宗教主事)
神 <エイズデーを覚えて> 川崎 愛 (神学研究科M2)、柳本 伸良 (神学研究科M1)
文 山 内 一 郎 (名誉教授)
社 上ヶ原ハピタット
法 音楽チャペル ハンドベルクワイア
経 人間を考える⑦ 市 川 文 彦 (経済学部教授)
商 音楽チャペル ジャズ研究会
国 アドベントをおぼえて 平 林 孝 裕 (宗教主事)
聖和 実習を通して 太 田 ひかり、井 上 阿 美 (教育学部3年)
総 関西学院ヒューマンサービスセンター 災害復興支援 共働プラットホーム
-
- 12月4日(水) 神 <テゼの礼拝> 夕べの祈り準備会有志
社 Gospel Christmas Live ゴスペルクワイアP.O.V.
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 榊 原 茂 樹 (商学部教授)
国 榎 本 てる子 (神学部准教授)
聖和 田 淵 結 (教育学部宗教主事)
理 前 川 裕 (宗教主事)
総 舟 木 謙 (大学宗教主事)
-
- 12月5日(木) 神 上ヶ原ハピタット
文 音楽チャペル 聖歌隊
社 動詞シリーズ「待つ」① 大 岡 栄 美 (社会学部准教授)
法 ボランティア活動報告1 宗教総部
経 人間を考える⑧ 田 禾 (経済学部准教授)
商 山 本 俊 正 (宗教主事)
国 English Chapel 鷲 尾 友 春 (国際学部教授)
聖和 「バーバーショップハーモニーとクリスマス」 広瀬康夫&グリークラブ
総 音楽チャペル ゴスペルクワイアP.O.V.
-
- 12月6日(金) 神 小 川 晃 司 (保健館事務長)
文 田 淵 結 (宗教総主事)
経 人間を考える⑨ 森 田 由 利子 (経済学部准教授)
人 音楽チャペル ハンドベルクワイア
聖和 「クリスマスのおくりもの」 聖和キャンパス吹奏楽部
理 音楽チャペル バロックアンサンブル
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)
12月6日(金) 日本語教育センターのために 阿 部 美恵子 (日本語教育センター准教授)

アドヴェント

— クリスマスに備えることとは —

Andreas Rusterholz

生活の中で、祭りは必要不可欠です。祭りは普段の生活を中断し、全く違った心持ちにしてくれるからです。もちろん、心うきうきと華やかな気分で一日を過ごしても、日々の生活は大して変わることはありません。それでも私たちは、その特別な時間のおかげで元気になり、再び日常の仕事に取りかかることができるようになります。祭りは生活のリズムを作り、このリズムがなければ、人生は単調な日々の繰り返しにすぎなくなるでしょう。

祭りをを行うためには、準備が肝心です。準備に取り組む人もいれば、何もせず、ただその祭りを心待ちにしている人もいます。心が準備を開始したのですね。

今年は 12 月 1 日の日曜日に、イエス・キリストの生誕を祝うクリスマスに備える待降節（アドヴェント）が始まり、関学の各キャンパスでは、2日にクリスマスツリー点灯式が行われます。クリスマスに備えることは数人の仕事ではなく、一人一人の使命でもあると、このような準備期間を定めた人々は考えました。かつては断食をし、華やかな結婚式や舞踏会などを控える習慣もありました。今では、慌ただしい毎日が、クリスマス・イブ直前まで続くのが普通になりました。次第に静かな待降節ではなくなり、プレゼントの用意を除いて、クリスマスに備えるという意味は失われつつあります。

祭りとして成立するには — それもすべての祭りに当てはまるかも知れませんが、— 内容と形が固まり、毎年同じように行わなければなりません。そしてそれこそが、人々が毎年の同じ流れの繰り返しに慣れてしまい、それぞれの祭りの本来の意味を見失う原因となってしまいます。

そこでちょっと立ちどまって、ゆっくりとその本来の意味について考え、改めて確認してみましょう。そうすれば、新しい発見も、より深い理解も可能になります。2千年前の最初のクリスマスに起こったこと、すなわち神が人となり、この世に現れたという出来事を再び読み、それについて考えることで、日々の生活は大して変わらなくても、新しい視野が開けるかも知れません。

(文学部宗教主事)

●2013年度大学主催秋季人権問題講演会

総合テーマ：Culture of Human Rights — 人権文化を育む（2010年度～2014年度）

1. と き：12月4日(水) 11:10～12:40

ところ：西宮聖和キャンパス 6号館 613号教室

※手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

2. と き：12月4日(水) 15:10～16:40

ところ：西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館「光の間」

※手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

講 師：清水 建夫（しみず たてお）氏

（弁護士、日本弁護士連合会障害者差別禁止法特別部会（労働担当）、

働く障がい者のための弁護士代表）

題 目：「障害者権利条約と改正障害者雇用促進法・障害者差別解消法
— 共生社会の実現をめざして —」

●第195回ランバス演奏会のご案内

「17世紀イギリスのリユートソング」

平井満美子（ソプラノ）、佐野健二（ルネサンスリユート、アーチリユート）

と き：12月5日(木) 17:00 開演

ところ：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原）

演 目：流れよ我が涙／ダウランド、つかの間の音楽／パーセル ほか

平井満美子と佐野健二のデュオは世界でも数少ないルネサンス、バロックリユート歌曲のスペシャリストです。是非ともこの機会に足をお運びください。<入場無料>

●冬の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、冬の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間：12月2日(月)～6日(金)

受付場所：吉岡記念館ラウンジ

主 催：宗教総部献血実行委員会

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブロースタワー 14 階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

12月6日(金)、13日(金)、20日(金) 18:00～18:20 1450 教室

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスページェントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。参加費は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

開催日時：12月20日(金) 17:30 開場 18:30 開始

参加費：2000 円

チケット販売：関西学院大学生協／チケットぴあ／ABCチケットセンター
／サークルK・サンクス／セブン-イレブン

●関西学院のクリスマス行事

*クリスマスツリー点灯式

12月2日(月) 18:30～

西宮上ヶ原キャンパス 中央芝生

西宮聖和キャンパス 1号館前

神戸三田キャンパス アカデミックコモンズ前

*関西学院クリスマス礼拝 — 音楽で祝う降誕 —

12月17日(火) 18:30～ 神戸三田キャンパス VI号館101

12月18日(水) 17:00～ 西宮上ヶ原キャンパス 高中部礼拝堂

12月19日(木) 18:30～ 西宮聖和キャンパス メアリー・イザベラ・ランバスチャペル